

# 目次

デバイスの追加 .....	1
BioStar 2サーバーにデバイスを追加 .....	1
RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加 .....	3
動画デモ .....	5

システム構成, BioStar 2, デバイス

## デバイスの追加

BioStar 2は端末の2つの接続モードをサポートします。

機能	BioStar 1.x		BioStar 2	
モード	ダイレクト	サーバー	デバイス→サーバー	サーバー→デバイス
リアルタイムログアップデート	クライアントにのみ	0	0	0
自動再接続	X	0	0	0

### BioStar 2サーバーにデバイスを追加

1. 端末に移動して端末検索をクリックしてください。



2. サーバーに追加するデバイスを選択します。BioStar 2は、**端末→サーバー**および**サーバー→端末**の2つの接続モードがあります。機能上の違いはありません。しかし、**端末→サーバー**は、指定されたサーバーから変更または切断されないよう、端末接続を保護できます。



端末のIPアドレス変更、もしくは**端末→サーバー**接続モードに変更するには、端末を選択し**IPアドレス設定**ボタンをクリックしてください。



3. サーバーアドレスにサーバーIPを入力し適用をクリックします。

4. 端末->サーバーの場合、デバイスが待機デバイス

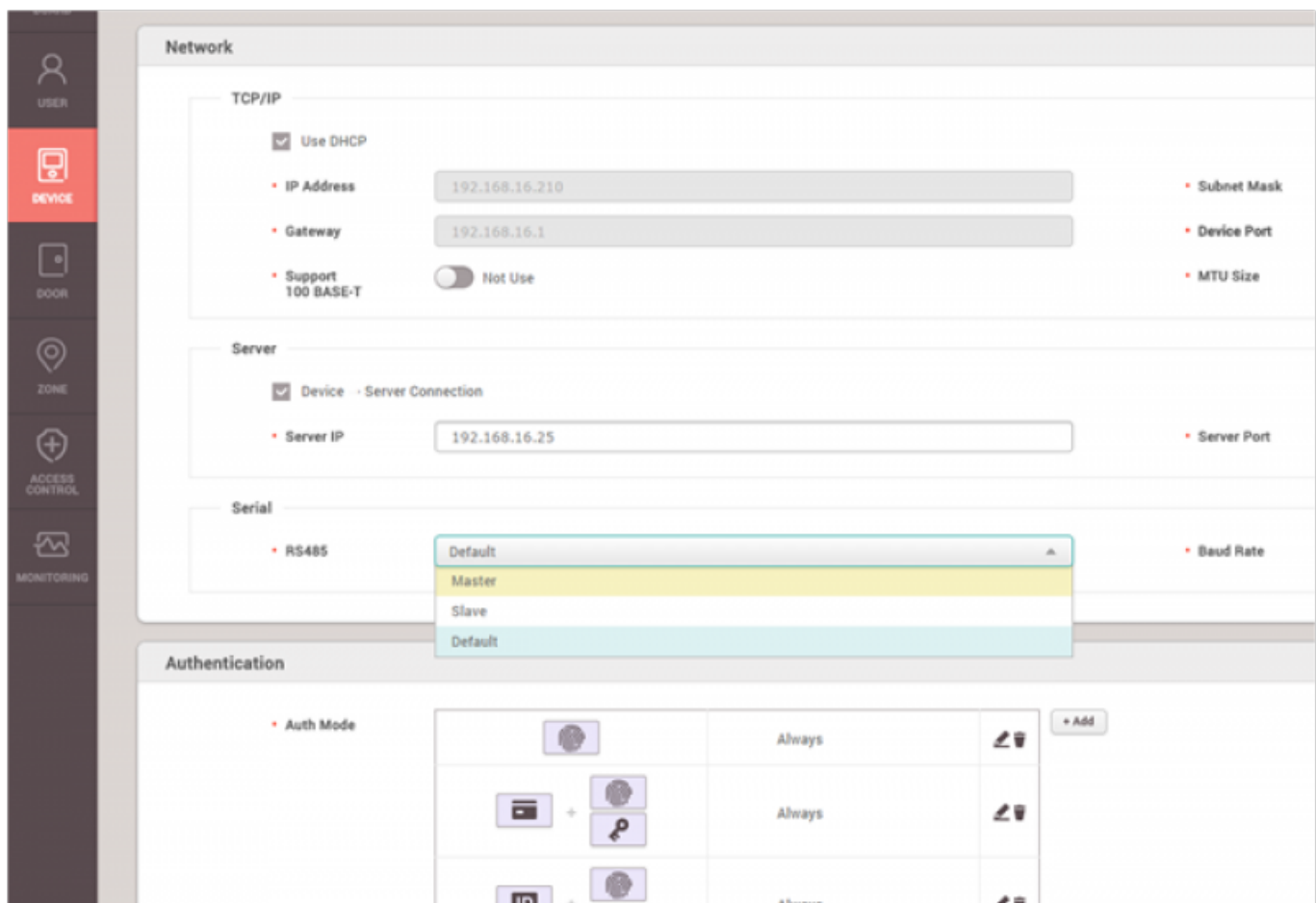
リストに表示されます。ブラウザで更新ボタンをクリックして、アクセスを確認してください。BioStar 2がデバイスを認識したらデバイスツリーでマウスを右クリックし、さらに登録待機デバイス追加ボタンをクリックしてデバイスを確認すると、サーバーに追加することができます。





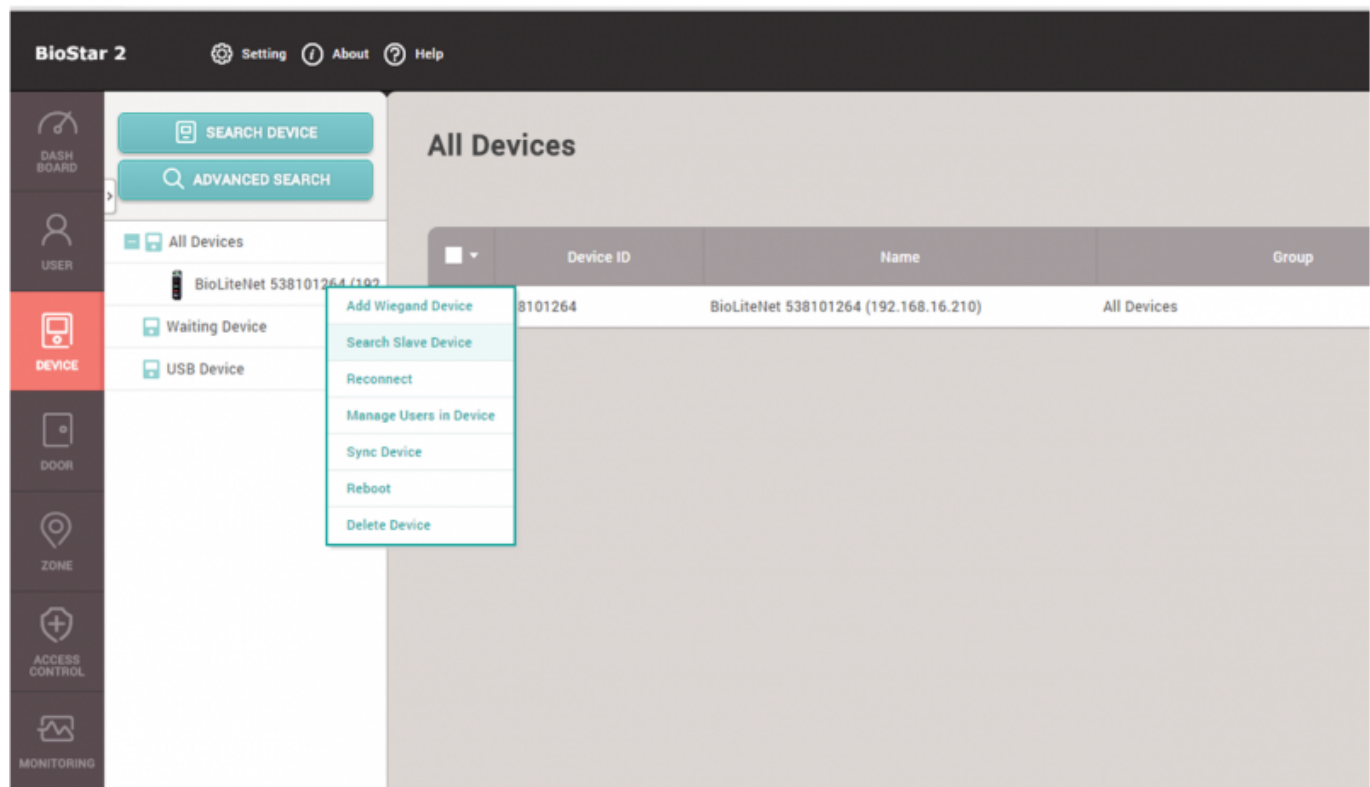
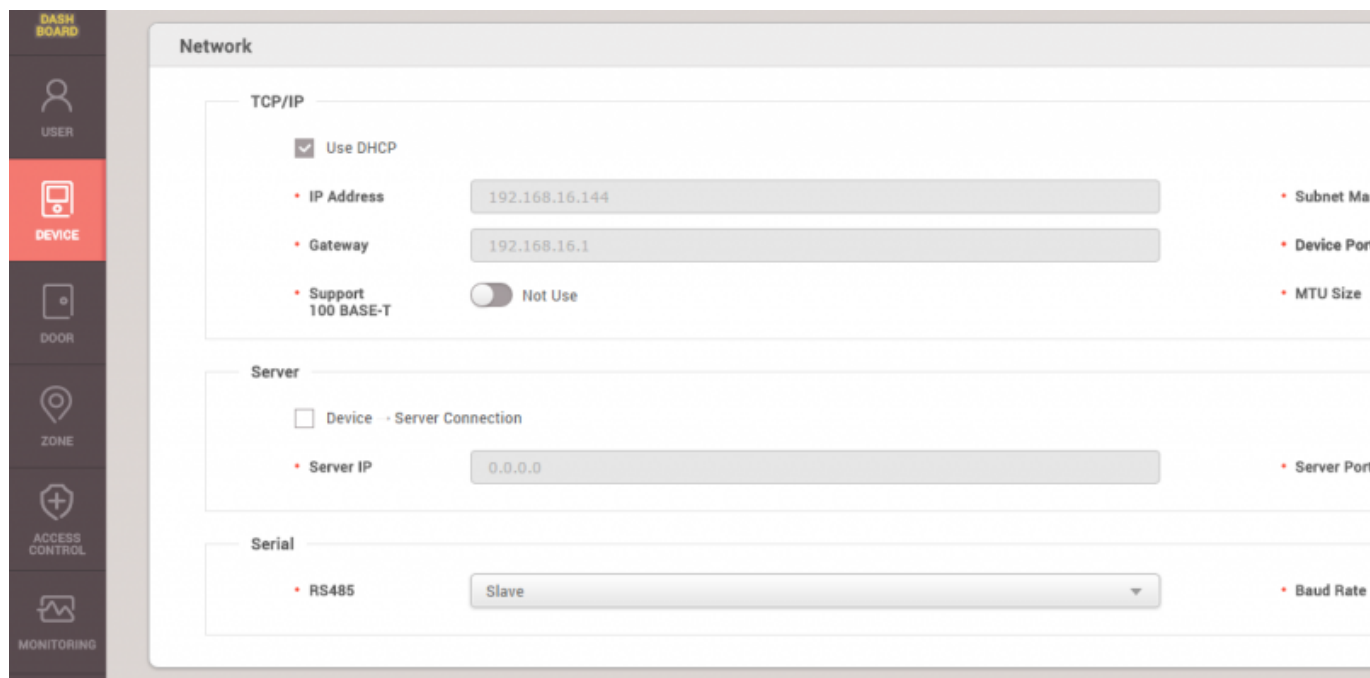
### RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加

1. 物理的デバイスのリンクを確認して、デバイス設定からデバイスをマスターデバイスに変更します。



- マスター：論理的決定を下してローカルゾーンを制御します。
- スレーブ：クレデンシャル情報を認識してマスターデバイスに送るダミーリーダーとなります。

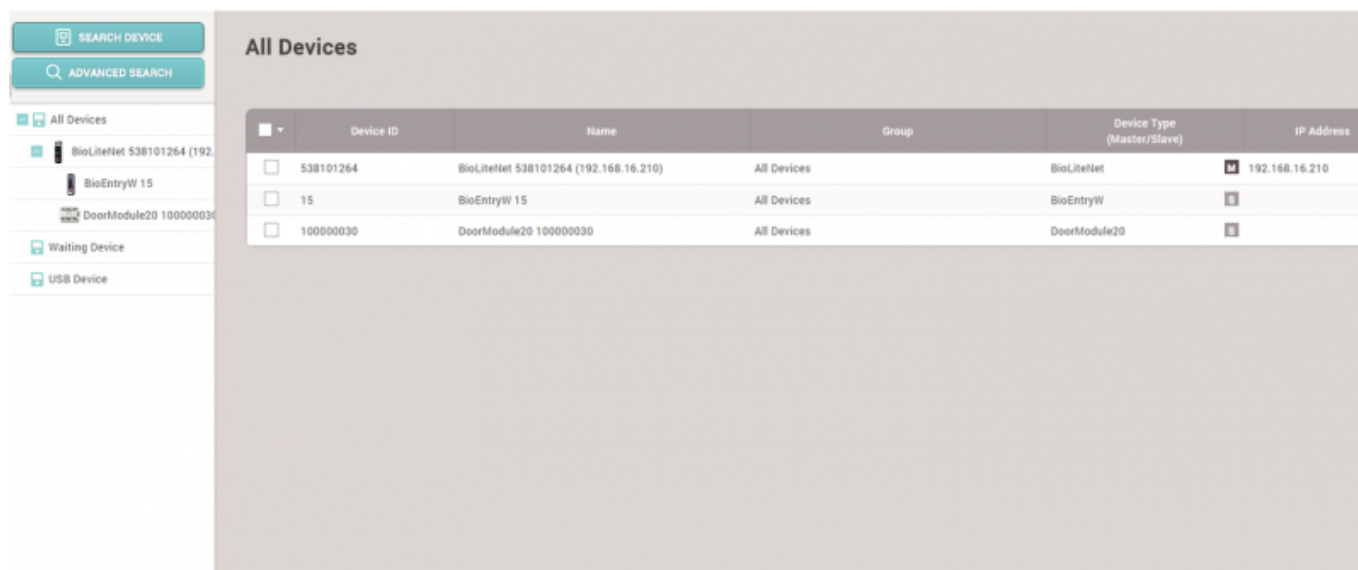
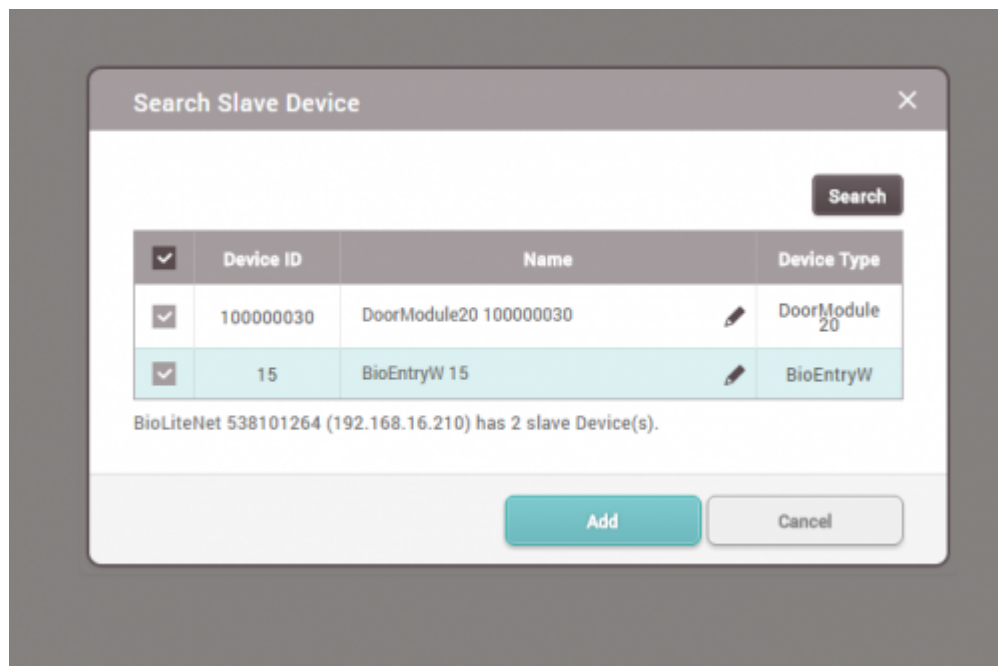
2. マスターデバイスが検索できるよう、デバイスを**スレーブモード**に変更してください。RS-485ケーブルを通じてマスターデバイスにアクセスし、物理的配線リンクを確認した後、BioStar 2に移動してください。**デバイス**メニューに移動してください。デバイスツリーでマウスを右クリックした後、スレーブデバイス検索をクリックしてください。



3.

検索結果を確認し、**追加**

ボタンをクリックしてください。ダイジーチェーンを利用して最大31のスレーブデバイスがアクセスでき、そのうち最大8つの指紋デバイスをアクセスすることができます。しかし、同時に複数のデバイスで複数の指紋マッチングを行わなければならない場合には、最適なマッチング性能のため、制限された個数のスレーブ指紋デバイスの使用をお勧めします。



動画デモ

[devices.mp4](#)

From:

[http://kb.supremainc.com/knowledge./](http://kb.supremainc.com/knowledge/) -

Permanent link:

[http://kb.supremainc.com/knowledge./doku.php?id=ja:how\\_to\\_add\\_devices&rev=1594877469](http://kb.supremainc.com/knowledge./doku.php?id=ja:how_to_add_devices&rev=1594877469)

Last update: **2020/07/16 14:31**